

1 教育目標

1	さとく	○よく聴き、よく考え、伝え合う子
2	やさしく	○豊かな心をもち思いやりのある子
3	たくましく	○明るく元気で何事にも積極的に取り組む子

2 学校経営の方針

<p>経営目標 「一人一人の子どもを大切に、協働して信頼に応える職員集団」</p> <p>① 主体的に学び、自分の思いを表現し、学びを実感できる授業づくり</p> <p>② 一人一人が輝き、仲間と共にあゆむ学級づくり</p> <p>③ ふるさとを愛する子どもの育成</p> <p>④ 地域・保護者と連携した教育活動が展開される開かれた学校</p> <p>⑤ 積極的に学校運営に参画し、「チームいちかい」で取り組む教職員集団</p> <p>教育スローガン (学校生活の基本)</p> <p>◎礼を正し ◎時を守り ◎場を清める (あいさつ) (あつまり) (あとしまつ) キラリかがやく いちかいっ子</p>

3 今年度の努力点

<p>◎地域と学校の協働体制の確立</p> <p>・地域コーディネーターと地域連携 ・情報交流会の実施、ふれあいルームの活用 ・豊かな体験活動の場の設定</p> <p>◎家庭力・地域力を生かした教育活動の推進</p> <p>・地域人材・地域資源を生かした教育活動の展開 ・学校支援ボランティアの活用と拡充</p>	<p>◎ふるさと学習の推進</p> <p>・豊かな体験活動の場の設定 ・総合的な学習の時間、生活科の充実 ・地域の名人に学ぶ ・地域の祭りや行事の参加奨励</p> <p>◎地域と連携した安全対策の強化</p> <p>・交通安全教室 ・避難訓練、防災教育</p>	<p>◎家庭・地域・関係機関との連携</p> <p>・情報の発信(各種たより、HP等) ・学校自由参観日の工夫 ・PTA等の活動の充実</p> <p>◎学校評価を生かした教育活動</p> <p>・教職員による評価2回実施 ・児童、保護者によるアンケート</p> <p>◎学校評議員会の開催</p>
--	--	--

4 評価

※評価指標の★は本年度の重点
※評価 A:優れている B:良い C:おおむね満足 D:改善を要する(改善策を記入する)

項目	評価指標	主な具体的評価指標		自己評価		学校関係者(学校評議員)評価	
		児童	保護者	評価	○達成状況(良い点)と△課題点		
教育課程	・教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気児童は生き生きと生活している。 ・教職員は責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる	①児童や学校の実態保護者や地域の意見・要望を踏まえ、学校としての教育目標(重点化された目標)を適切に設定している。	A	○話し合いの機会が設定されていた。 △本校の目指す児童像について、具体的な児童の姿としての共通理解があるとよい。	A	○行事や体験活動が盛りだくさんに入っているの、先生方も大変かと思うが、児童がふるさとの良さを分かってくるために効果的であるといえる。	
		②学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員の共通理解を図っている。	A		A		
		③教育課程の実施に必要な各教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	A		A		
		④全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に運営している。	A		○4年生のふるさと学習に新しい試みがあってよかったと思う。 ○発見感動ハイキング、4年生のふるさと学習と体験活動を通して、ふるさとの良さを再発見できている。		A
		★豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図っている。	A		○アグリ体験(稲刈り)を行った。 ○キャンプは中止にはなったが、自然学校の体験など目的は達成できたのではと思う。 ○土地にまつわる民話をさくことができた。 △活動の場をあまり設定できなかった。意識して活動場面を設定する。 △行事の効果と働き方改革のため思い切った改善や削減が必要と思う。		A
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○一人一人をよく見つめ、どの先生も熱心に指導している。 ○ボランティアを通して体験的な学習や校外学習、地域連携の行事が充実している。		
学習指導	・教職員は児童に確かな学力を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努めている。	A	○学力向上推進リーダーの指導の下、意識しながら取り組むことができた。 ○学力向上推進リーダーの指導助言を生かしながら児童の側に立った授業改善に努めている。 ○学力向上推進リーダーと連携することで、授業の展開等で一定の成果が得られた。	A		
		②T.Tによる習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、個に応じた指導を適切に実施している。	A	○津村先生のアドバイスが大変参考になった。 ○授業や単元の最後、ゴールを意識して毎時間行った。 △児童が説明をしたり、児童同士で練り合ったりと言うことがまだ出来ない。機会を増やし、慣れさせていきたい。	A	○多様な考えで思考が深まる。発表を前向きに捉えて生かしてほしい。	

					<p>③各教科等で身に付けた知識や技能との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。</p>	B	<p>○めあてと振り返りを意識して授業を行った。 ○児童の興味関心を引くような課題提示の工夫に努めた。 ○津村先生の指導の下で、意識して取り組むことができた。</p>	B	<p>△常に向上心をもって臨んでほしい。</p>	
					<p>★ペアやグループでの話し合い活動等を取り入れ、言語活動の充実に努めている。</p>	A	<p>○低学年は、常に二人体制のため、常時、個に応じた指導ができてよい。(今後も継続してほしい) ○TTと安定した連携によってきめ細かな指導がされている。教職員間の良好な人間関係によるものも大きい。 ○個に応じた指導が十分なされていた。引き続き努力したい。 ○児童は、学習に意欲を持って取り組んでいる。 ○定着度の低い児童への声掛けや指導を行い、学習活動を促した。 ○児童の実態に応じて、様々な学習の仕方を実践している。 ○1年生も話し合い活動を多く取り入れてきたので、定着しつつある。 ○低・中・高学年と系統的に身に付けさせたい言語活動と語彙力について考えながら実践している。 ○伝え合う、ききあう活動ができています。 ○自然にペアやグループになって、教え合う様子が多く見られている。 ○国、算では、ペアやグループ学習を取り入れるように心がけた。 ○学力向上推進リーダーや教頭先生のアドバイスを得て、多く取り入れることができた。</p> <p>△3学期は時間を十分確保しながら、まとめていきたい。 △さらに目的意識をもって取り入れていく。 △T.Tや支援タイムの先生と情報交換しながら、個別指導をすることができた。 △算数の授業では、T・Tの先生と連携して、児童の実態に合わせて個別に指導することができた。 △プレゼンテーションや資料の集め方の向上が見られた。 △調べ学習で終わってしまった。 △パソコン等を使った調べ学習の時間が十分に確保できなかった。 △ペアやグループ活動は取り入れたが、話し合う必要性があるものか、タイミングは適切だったかなど課題が残った。 △ペアやグループでは話し合うことが出来るが、一斉での発表は特定の児童しか出来ない。</p>	A	<p>△先生の一方的な質問ではなく、子供から子供へと発言を繋げると良い。 △発表した子の意見を次に生かしていけると良い。 △発言できない子でも頭で考えている場合もあるので、発表の機会は平等でなくてもやむを得ないと思う。</p>	
					<p>★魅力ある学習課題の設定や体験的問題解決的な学習を展開している。</p>	B	<p>○国語・算数で試みた。普段の授業より「理解が深まった」という手応えがある。 ○児童とのやりとりで、めあて設定ができています。導入の工夫もされてきている。 ○今年度は学校課題が国語ということで、児童が意欲的に取り組めるような国語の学習課題の設定について研究できた。 ○児童の主体的な学習意欲が継続していく課題や発問について引き続き研究したい。</p> <p>△教科を絞って、普段の授業の中で、体験的問題解決的な学習を展開する。 △国語では、ゴールの言語活動を引き続き工夫したい。 △校外学習以外、魅力的な体験的活動がほとんどできなかった。 △国語の魅力ある学習課題についてさらに引き出しがほしい。 △「体験的～」まで発展することはあまりない。</p>	A	<p>○現状を良く把握し、分析して丁寧に対処している姿勢がよい。</p>	
	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		<p>○学力向上や自主学習、ノーメディアデーなどの意識が高い。 ○みんな仲良しでよい。学校が楽しいと言っている。</p>			
	心の教育・道徳教育					<p>①教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりをとおして思いやりの心が育まれるように努めている。</p>	A	<p>○スーパースター発表を取り入れたことで、思いやりの心が育った児童が増えた。 ○にこにこ班活動が充実していて、高学年がよく面倒を見ていた。 ○縦割り班での活動がよい。高学年が低学年の面倒をよく見てくれる。</p>	A	<p>○大縄跳びで高学年が低学年にタイミング良く背中を押していた。</p>
						<p>②道徳の時間の指導や日々の実践をとおして、児童が善悪についてしっかり判断してルールやマナーを守り、道徳的実践力が身に付くように努めている。</p>	A	<p>○ルールが守れないときに、道徳で学習した内容を振り返らせるよう心掛けた。 ○道徳の時間だけではなく、日々の生活の中で何度も繰り返して指導した。 ○学級全体で、ルールの確認、すべきことを話しあってきた。</p> <p>△単位時間の道徳科の授業を大切にしていこうと、児童の内面に訴える指導が大切と考える。 △特に、道徳の時間を通してルールやマナーを守ろうとする実践力が身に付いたかどうかは疑問。 △道徳的実践力についてはまだ個人差が見られる。</p>	A	<p>○一人一人が愛情を書けてもらっている様子がわかる。 ○少子化で一人っ子でも少ない家庭でも上級生から大切なことを習うと思う</p>
	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		<p>○縦割り班活動があり、学年を越えて子どもたちの仲がよい。 ○あいさつが元気よくできて気持ちいい。明るくのびのびしている。 ○上級生が優しく下級生の面倒をよく見る。</p>			
	キャリア教育					<p>①日記指導や日々の学級指導において、児童が自分の日常を振り返ったり、自分のよいところに気付いたり、伸ばしたい自分の姿や目標などを意識したりする機会を設けている。</p>	A	<p>○児童同士の交換ノート、帰りの会の振り返り日記等、児童理解に努め、よいことがあればすぐに広めるなどの機会の設定を積極的に行った。 △日記指導は行えなかった。学校行事などで目標を意識させることはできたが、十分ではなかった。</p>	A	<p>△難しいテーマだと思いが宜しく願いたい。</p>

			②学級活動等の指導計画に、将来のことを考える学習を位置付け、自分の将来の夢や希望を目指して努力するよう指導に努めている。	B	△生活の中で、将来のことを話す機会があったが、十分とは言えなかった。 △道徳の教材研究や授業展開等、工夫改善に努める。 △新年のめあてを立てる際に、将来の夢を書かせ、掲示することで意識付けさせる。学期始等の児童の作文発表のように、互いの夢や希望を知ったり、励ましたりする機会があると良い。		△好きなこと、やりたいことが見付かると良い。
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○目標をもち、スポーツや部活動を頑張っている。		
児童指導	・教職員は児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	①全職員の共通理解の下に指導体制が整備されている。	A	○問題を一人で抱え込まないでオープンに相談できる雰囲気がよい。複数で対応している ○職員会議や児童指導部会、ケース会議などで、全職員での共通理解がよく図られている ○児童指導主任が中心となって報告・連絡・相談がスムーズに行われた。 ○毎月の指導部会で、情報交換を行い、指導につなげることができている。	A	○アットホームな雰囲気である。	
		②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切に行っている。	A	○ルールとマナーの違いを明確にし、マナーの指導については家庭にお願いする。 ○すべきこと、してはいけないことはしっかり指導している。 ○その場での指導を心がけるようにした。 △学校生活での指導だけは限界がある。	A	○親が安心して子供を送り出せる環境が整えられている。	
		③職員の共通理解を図り、児童の問題行動に対する未然防止と指導に当たっている	A	○担当学年に限らず、その場で指導して下さる先生方が多かった。 ○時間を意識した生活を送れるよう指導してきた。 ○指導が必要ときに、全職員が対応してくれるのでありがたい。 ○小中の連携や、幼小児童との連携等、昨年よりまた一歩工夫し、充実していたと思う。 ○職員間の情報交換がよく行われている。 ○他学年の児童にも、共通理解を図り連携がとれている。 ○問題を共有し、複数で指導にあたっている。 ○全校体制で指導していただいたので、未然に防げたトラブルがたくさんあった。(休み時間等) △大人に対する言葉遣いが気になる時がある。 △全児童の問題として意識させることで、早期発見と未然防止につなげる。	A		
		④教育相談を定期的に行い、児童理解に努めている。	A	○教育相談のための特別日課だったので、じっくり話を聞くことができた。 ○定期的な教育相談以外にも適宜相談等行っている。 △機会を逃さず、求めている児童の思いや悩みに、複数の目で気付いてやりたい。 △対処的指導が中心になってしまい、未然防止までいかなかった。 △家庭、諸機関等との連携も大切。自分も主体的に動くことが必要と思う。	A		
		★「3あ運動(礼を正し、時を守り、場を清める)」を推進している。	A	○全校生が意識していることはよいと思う。 △下校の集まりがもっと静かにできるとなおよい。 △小さい声でも響いてしまうので、ある程度は仕方ないのかもしれないが、代表児童が前に並んだら静かにするなど、はじめがつけられるといいのかもしれない。 △いつも叱るのではなく、褒めて伸ばす指導のスキルを互いに見習っていききたい。	A	△誰かが叱れば他の人が褒めるなど連携して育てていく頃が大切。	
		★学級の雰囲気が温かく、児童が安心して学習や生活に取り組める人間関係づくりに努めている。	A	○名前を呼んでからあいさつをする児童が増えた。 ○あとしまつの無言清掃は日常的によくできていた。 ○お互いのよいところをみつけて人間関係を築けるよう心がけた。 △「あつまり」に対して、「あいさつ」と「あとしまつ」を意識する場面がやや少ない。 △職員に対しては、よくあいさつができるようになった。来校者に対してはまだまだ不十分だと感じる。 △教師側の温かな言葉かけが児童にも影響するので、教室内の言葉遣いに気を付けたい。 △清掃開始時間の徹底を図っていききたい。 △配慮児童に対する周囲の関わり方について、引き続き連携をとっていききたい。	A	○保護者の安心と感謝の気持ちがあふみ取れる。 ○行事や体験で子供の心が育っている。	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○学校と保護者の仲がよくアットホームな雰囲気がよい。風通しがよい。保護者の協力が良い。 ○担任以外の先生方も話しやすい。どの先生も児童に声かけをしてくれて仲がよい。 ○校長先生などが毎朝校門で迎えてくれる。		

人権教育	・教職員は一人一人を大切にし、児童が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育	①教育計画への適切な位置づけを行い、人権意識の高揚を図っている。	A	△学年が上がるにつれて「～さん」付けでなくあだ名や呼び捨てになってしまっていた。 △気付いたときには訂正して意識させるように声掛けをした。	A	△先生方の人権意識を更に磨いて欲しい。
		②各教科等の特質に応じて「育てたい能力・態度」の育成に努めている。	A	△低学力の児童では達成できなかった。 △概要に詳細はあるが、常日頃、目にするものは少ないと思うので、年計や週案などに入れていつも確認できるとよいと感じた。 △各教科で、個々の達成目標を明確にして指導にあたる。	A	

					△家庭とも連携しながら食事の大切さ啓発していく。			
					★教科体育及び教育活動全体の中で、効果的な体力づくりを実践している。	A	○持久走大会に向けて各学年で目標をもって頑張っていた。 ○行事と合わせた体力づくりになっているのがよい。 △遊びの中で体力づくりができるよう、遊具の特質など有効に活用できるとよい。 △体力テストの結果から課題となるものについて体力づくりで実践できることがあればやってもいいと思う。	A
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○給食が温かくておいしい、メニューが豊富と思う。 ○給食が大好きと言っている。毎日家で話題になる。			

安全管理・安全教育	・学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①学校事故等の緊急時に適切な対応ができるような危機管理マニュアルを作成・活用している。	A	○教室にマニュアルのカードがあるのでいざというときにすぐに用意できるのが良い。 ○マニュアルを確認する機会が以前より増えている。 △水が出なくなったときの対応についても検討しておきたい。	A	○危機管理については常に意識し訓練して安全に備えてほしい。
		②安全点検（通学路を含む）を組織的・計画的に実施し、危険を防止するための措置を講じている。	A	○無担任の職員も一丸となり、遊具固定など、必要な安全対策に適宜着手していた。 ○あおぞらタイムに安全点検を行ったことで児童の声も聞けてよかった。	A	
		③交通ルールの遵守について学校行事や学級活動等を通して指導し、交通安全の意識の向上に努めている。	A	○交通安全教室が計画的に行われ、意識の向上が図られている。 ○交通安全教室で、自転車部の子達が活躍する場面もあり、他の児童にとってもよかったと思う ○学童の先生が迎えに来てくれるようになり、下校時のトラブルが減った。 △横断歩道については手の上げ方や運転手への挨拶など、学期毎の再指導が必要か。	A	
		④防災・防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めている。	A	○危機管理に関しては、不測の事態を念頭に、日常的にさらに訓練を重ねてさらにいきたい。 ○消防・警察といった外部講師と連携した訓練がなされており、意識が高まっている。 ○地震の時には、児童が自然と安全な体制をとっていた。 ○必要な訓練は何かを吟味、検討した上で実施できている。 △実施時間を教えない等、より実際に近い形で訓練を実施するとよい。 △報告の流れをもう一度確認して徹底するとよい。 △指導したことは守ろうとしているが、訓練自体がややマンネリ化している。 △不審者対応の連携で課題が見られた。	A	

児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○危機管理対策、安全管理、緊急対応の迅速さがよい。 ○一層の危機管理体制の充実を図ってほしい。（来校者用の名札活用等）		
-------------	----	---	-----	---	--	--	--

組織運営	・教職員は一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	①教育目標の具現化に向けて、職員が共通理解の下、協力して取り組むよう努めている。	A	○意見の相違も折り合いをつけて、前向きに目標に向かっていける雰囲気がある。 ○職場の雰囲気がとてもよいので、何でも話がしやすい。 ○互いに仲間を助けようとする気持ちの温かさと余裕が感じられる。同僚性が高い。	A	△教師間のいじめがあることも心得ておくように。
		②校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。	A	○各主任を中心にスムーズに機能していた。	A	△雰囲気や仲が良いことに安心せずに、敢えて辛口の意見も取り入れていくとよい。
		③各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。	A	△パスワード付きのUSBの使用度は低いと思う。 △データが個人のフォルダに保存されていることがある。 △情報管理については市貝町全体が他市町より緩いので、自覚と注意が必要。	A	

児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****		
-------------	----	-----	-----	-----	-------	--	--

研修 入資質の向	・教職員は定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指し学び合っている。	①校内の研究組織や体制を整備している。	A	○研究主任を中心によく取り組んでいた。	A	
		②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に	A	○今年度の学校課題は勉強になった。 ○日々の授業公開をするときの表を作成したり先生方へのコメント用紙などを配布したりと計画がなされていた。	A	○学校からの一方通行では

上 V		取り組んでいる。		○国語の研究授業で、単元づくりや授業作りの研究や実践が大変役に立っていると思う。		なく、双方からの情報交換を試みていてよい。
		③研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。	A	○自分に必要と思われる研修には積極的に参加しようと心掛けた。 ○特に外国語の研修に積極的に参加することができた。 ○研修会に積極的に参加できた。 ○いつも還元できるように工夫したい。	A	
		★校内研修が充実し、教職員の資質の向上に役立っている。	A	○多忙な中でも時間を捻出し、短時間でも全員がワークショップで見直す機会があった。 ○どの研修も必要なものばかりで資質向上につながっていると思う。 ○津村先生のアドバイスがとても有効だった。 ○課題解明のための校内研修で効果が上がっていると思う。	A	
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****	

学校評価	・学校は、学校評価を計画的に行い、改善を図るとともに、その結果を公表している。	①学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。	A	○職員間の話し合いがしっかり行われていた。 ○予算や会計に関する項目が必要なと感じている。 △各教科においてどんな有用性があるか確認する。	A	○子供が生き生きと楽しく学校に通っているのが何より嬉しいこと。
		②外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。	A	○授業参観や学校行事等、保護者や学部からの声を聞く機会を計画的に位置付けた。	A	
		③学校関係者による主体的能動的な評価が年1回以上定期的実施されている。	A	○学校評議員会なども年に3回行い、助言や評価をいただく機会も多く参考にできた。	A	
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****	

情報提供	・学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報を公開している。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分に分かりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A	○メール配信やHPへの掲載など有効に活用している。 ○今年度から学校だよりを役場経由で配布するようにした。	A	○いつも良い内容で発信している。
		②学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの公開、メール配信等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A		A	△写真の流出や悪用には十分に注意してほしい。
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○ホームページの充実、さらに多くの情報を掲載してほしい。	

保護者・地域住民等との連携	・学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	①地域コーディネーターと情報交換会を開き地域連携教員と連携を図りながら地域と学校の協働体制を確立している。	A	△学年によって必要があるときに効果的に連携を図ることが大切。	A	
		②保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に設け、アンケート等を実施するなどして、具体的な要望や意見を把握し適切に対応している。	A	○保護者が積極的に行事に参加し、アンケートも提出率が良かった。	A	
		③地域の人々と交流する機会を設けたり、授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用したりしている。	A	○外部講師の招聘や授業への参加等、積極的に取り入れようと各学年が工夫していた。 ○生活科では、町探検や昔遊びなどで、地域の方と交流する機会が多かった。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○保護者の参加、協力が多く、ボランティアとの連携もとれている。 ○先生と保護者、地域が良く連携し、相談しやすい雰囲気にある。いじめ防止になっている。	

教育環境整備	・設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている	①施設・設備を有効に活用している。	A	○積極的な廃棄など校舎内外の、至る所が使いやすくなっている。 ○資料室等の備品で、職員から指摘を受けて初めて存在に気付くことがあった。 ○ICT教材を活用し、分かりやすい授業に努めている。 △日頃から、教科ごとの設備・備品について確認しておく。 △体育館トイレの洋式化をお願いしたい。 △各階の個室の数を減らしても良いので、全て洋式にして欲しい。 児童や来校者などからの声もある。	A	○敷地が広いから整備が大変と思うが、綺麗にされている。
		②教材・教具・図書の整備を適切に行っている。	A	○ひばり文庫の整備など計画的に行っていた。 ○図書ボランティアの活動により、図書室が整備されていて有難い。 ○あるとよい教材を相談すると、素早く対応してくれている。	A	
		③学習・生活環境の充実のための取組を行っている。	A	○用務員さんや運転手さんの環境整備、天井工事の作業計画など充実していた。 ○天井工事では教室引っ越し等、大変な苦勞であったが、地震での危険がなくなったのでよかった。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○全教室にエアコン完備でよい。 ○自然豊かで、きれいな環境で、のびのびと生活できている。	

5 学校運営についての意見

職員評価	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革としての試行錯誤を職員が積極的に実践していった。効果の大小が分かり今後の改善に役立つことと思う。 ○職員間での情報交換や複数での児童の見守りなど、常に前向きに、困難なことも笑いに変えながら協力して取り組んでいる雰囲気素晴らしいと思う。 ○業務改善がなされたことがよかった。それぞれの先生方が意見を言いやすい雰囲気なのがよかった。 ○中泉さんに校庭や校舎の修繕等をしていただいととてもありがたかった。 ○働き方改革で出された意見を、次年度にもさらに生かせたらと思う。(PTA行事を含め) ○毎日多忙にもかかわらず、いつも笑顔で児童に接し、工夫した授業に心がけている先生方に頭が下がる。他からのアドバイスも謙虚に受け入れる雰囲気が素晴らしいと思う。 ○働き方改革について様々な意見が出され、実施できているのがよい。 △学期末の一月は、学力向上推進リーダーの授業はなくてもよいのではないかな。 △業間活動の自由時間の確保 △給食主任に本来の業務外の過剰な負担が掛かっている。同僚としてフォローできることは少ない。速やかに解消してほしい。担当者の健康状態が心配。
児童	<ul style="list-style-type: none"> ○金曜のおおぞらタイムがあるのがよい。 ○校庭が広い。森やミニ伊許山があつて楽しい。 ○他の学年とも仲がよい。休み時間にみんなで遊べる。 ○給食がおいしい。デザートも付くし、手作りがすぐに食べられる。 ○「3あ運動」を頑張っている。 ○図書室の貸出がバーコードですぐ借りられる。 △遊具がたくさんあつて楽しい
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ○自然に恵まれ、校庭が広い、など環境がよい。 ○先生と保護者の距離が近い。どの先生も話しやすい雰囲気がある。 △南門から校庭までの整備してほしい。水はけの問題。 △その他 体育着の生地の見直し 施設設備の整備(校舎内トイレの修繕や体育館トイレの洋式化など)